



CCS便り

NPO 法人 キャリア・カウンセラー札幌
平成 30年 7月 5 日発行

会報 Vol .14

〒060-0052 札幌市中央区南2条東6丁目 2-1
B-205

TEL. 011-596-6242

FAX. 011-596-6267

E-mail ccs2012@vega.ocn.ne.jp

URL <http://www.ccsap.jp>

CCS / 7年目の飛躍のためにⅡ

総合的な経済状況は順調ですが、依然として社会には非正規社員の増加や格差の拡大が存在し、一向に改善される兆しはみえません。

このような状況下でキャリア形成に悩んでいる人々は増加し続けています。

そして、キャリア教育やキャリア開発を通じた持続的成長への貢献が社会的に求められているのです。

我がキャリア・カウンセラー札幌の使命も社会的に重要度が高まっていると感じています。

今年度は昨年始めた「キャリア・カウンセラー研修」と「拡大勉強会」、「就職支援相談会」、「応募書類添削」などの持続的展開を目標に活動します。

また、キャリア・カウンセリングの普及・啓蒙に向けたホームページの改定と会報誌の発行、メルマガなどによる広報活動の更なる充実も図ります。

7年目に当たる今年度は、過去の6年間に比して情報発信量、活動量において質、量ともに上回ることを実現し、更に社会に貢献をしてまいりたいと考えております。

NPO法人キャリア・カウンセラー札幌

理事長

平澤 麦生



「相談会」の様子

キャリア開発に必要な5つの理解とは・・・再考

キャリア・カウンセラー 平澤 麦生

・キャリア開発の方法について悩む人は多い。ではキャリア開発はどのようにするとよいのか。

一般的なキャリア開発の方法は自己分析、自己理解⇒状況理解（環境理解、職業理解、企業理解）⇒必要な資格取得（必要ない場合もある）⇒職業経験（含むインターンシップ、実習付きの職業訓練、体験的なアルバイト）⇒就職（or 起業）⇒（部署移動）⇒転職（or 起業）・・・となる。

この順序が時々入れ替わったりしながらキャリア開発は行われていくのではなかろうか。

過去の日本企業では一度入社すると企業が個人のキャリアを終身雇用という形で支えてくれ、人材育成も企業が行ってくれたのが習慣化していた。

しかし、グローバルズムや人事政策転換の波は、過去の日本企業から会社主導のキャリア開発という側面を奪い、その結果、個人が自らのキャリアを自分で開発しなければならない社会が到来していると思われる。

そして、上記のキャリア開発の方法を知って活動することが必要とされる時代がやってきた。

過去に上記の諸事項を経験した人は、経験した事項には余り時間を要しないであろうから、この順序を踏襲しながらも短時間で作業を終えることができよう。

そういう経験の少ない人たちには基本は上記の順序にあることは覚えていて欲しいものだ。

・自己理解や状況理解の必要性について

キャリア開発には**自己理解、環境理解、職業理解、企業理解、就活理解の5つの理解**が欠かせないということは、上記のキャリア開発の方法を実行する時のポイントが、この5つの理解にあるからだ。

自己理解については、その前提の自己分析がしっかりできたかが、その成功失敗に大きく関わる。自己分析がなぜ重要なのか、それを始める前にはなかなか実感が湧かない人もいる。これはキャリア開発が自己分析を通じた自己理解を基礎に成り立ち、その他の理解は自己理解が終わってから行われるべきものということがなかなか理解しづらいからだ。

自己分析の方法としては自己分析シートを活用するやり方、（自己分析シートは既存の本などのものを使うのもよし、自分でノートに縦線を引いて所属した会社、仕事内容、実績等を書き込む職務の棚卸や、自分の得意なこと苦手なことや強み、弱みを対比して書き出す方法等でも可能）それ以外には様々な性格テスト、適性検査、職業に関するテストなどの結果から判断するやり方もある。

また、友人、知人の評価や相談員との会話のなかでの自分の評価を参考にするやり方もある。大きく分けてテスト（アセスメント）、自己分析シート、他人からの評価の3つの方法をできれば全て十分に時間をかけて行い、自己理解をきっちりすることで、その後の4つの理解は促進される。

一方、状況理解は（環境理解、職業理解、企業理解を含む）様々な情報や知識を吸収し、分析、整理することで初めて可能になる。

そのためには、職業紹介の書籍やサイト、業界関連の書籍や雇用関係のデータ、民間の企業データや企業固有のホームページ等々の資料やデータを研究し分析、整理していくことが必要になる。この段階までには十分に時間をかけることが望ましい。

何故なら、ここをゆるがせにしておくとも十分な稽古のない試合のように行動や実践の段階で失敗しがちだからである。

そして、資格取得や職業経験などの能動的な作業に進んでいくことになる訳だ。

• 必要な資格取得や職業経験はどうするのか？

自己分析、自己理解や状況理解が出来た後には、いよいよ資格取得や職業経験などの能動的な作業に進んでいくことになる訳だが、そこにも事前の研究や準備は必要だ。

資格の研究は無駄にはならない、というのも資格取得の方法はいろいろある。専門の学校に行くのもあり、通信教育、独学もある。

その様々な方法の費用や費用対効果の比較も必要。取得の難易度も極めて重要、場合によっては取得に何年も費やすものもあり、到底不可能なものもある。

(因みに私に今から医者や弁護士になれと言われても、到底不可能であるように)

また、職業経験に於いても希望の業種や職種での体験的なアルバイトであっても場所の選択が必要になることが多い。

どこでも良いから体験したいというのも悪くはないが、できうる限り良い職場を選択すべきではないだろうか。

そのためには、ここでも企業理解は必要であろう。そして、次の関門が「就職活動」になる。

• 就職活動の理解とは

自己理解他の3つの理解を経て、いよいよキャリア開発の山場とも言うべき「就職活動」となる。

そこでは、ここまで準備してきた自己分析、自己理解や状況理解、資格取得や職業経験などの知識、体験がすべて生きてくることになる。

これらのものを総動員しながら「就職活動」をする訳だが、ここでも必要になることがひとつだけある。それが「就活理解」である。

就活で勝者になるためには、その進め方や方法や必要な知識の中にある様々なセオリーを予め知っておく必要が高い。

就職活動において、書類作成、面接のセオリーは決して無視できない採否に決定的な影響を与える要素を多く含んでいるからだ。

(完)

就職支援相談会

日時 平成30年8月21日(火)

時間 13:00-16:00

場所 わくわくホリデーホール
会議室

料金 無料

お申し込みはメール、電話、またはファックスにて

編集後記

さわやかな風が気持ちの良い季節になってきました。

新年度の活動も3ヶ月が過ぎました。そして順調に各事業が展開されています。

今後も、社会貢献のために、地道に進んでいきます。

今より少しでも多くの協力者が増えることを期待しています。(A・M)